



XDS-1000/A

希望小売価格 2,000,000円+税

内蔵ストレージ HDD 1TB SxSメモリーカード

XDS-PD1000/A

希望小売価格 2,700,000円+税

内蔵ストレージ HDD 1TB SxSメモリーカード

プロフェッショナルディスク

XDS-PD2000/A

希望小売価格 3,700,000円+税(新価格)

内蔵ストレージ SSD 960GB SxSメモリーカード

プロフェッショナルディスク

※写真はXDS-PD2000/Aです。



Aモデルの主な変更内容

変更内容	型名		
	XDS-1000/A	XDS-PD1000/A	XDS-PD2000/A
SxSメモリーカード (exFAT) へのコピー対応	○	○	○
内蔵SSD容量拡張/960GB標準搭載	—	—	○
外部SSD用USB3.0インターフェースボード標準搭載	—	—	○

※旧モデルからAモデルへのアップグレードについては、担当営業までお問い合わせください。

XDCAM Stationの主な特長

3つのメディアに対応したハイブリッドレコーダー

内蔵ストレージ、プロフェッショナルディスクドライブ、SxSメモリーカードスロットを標準搭載し、3つのメディアへの記録・再生に対応したハイブリッドレコーダーです。内蔵ストレージは、MPEG HD422 50Mbpsの記録フォーマットでは約30時間記録できます。1つのクリップの記録時間は最大6時間です。

※ XDS-1000はプロフェッショナルディスクドライブは搭載していません。
※ SxSメモリーカードへのベースバンド記録はできません。

マルチコーデック対応

XDCAM MXFでサポートしているSD、HDすべてのフォーマットに対応し、また、内蔵ストレージでは、対応しているすべてのファイルフォーマットの混在記録が可能です。

XDS-PD2000/Aでは、AVCコーデックオプションXDBK-106(別売)を装着することにより、XAVC Intraコーデックにも対応します。

※ SDIでの記録対応コーデックは、P4の「主な仕様」をご覧ください。
※ プロフェッショナルディスクおよびSxSメモリーカードは、フレーム周波数グループが一致する場合に限り混在記録が可能です。
※ プロフェッショナルディスクはXAVCと他のフォーマットの混在記録はできません。

内蔵ストレージの2つの動作モード

メニューの設定により運用用途に合わせて内蔵ストレージの動作モードの切り替えが可能です。

1in1outモード

記録操作・再生操作の選択を切り替えることで、記録と再生を独立して動作させることが可能です。例えば、記録中のファイルを追いかけて再生したり、別のファイルを選んで再生することができます。

VTRモード

従来のスタジオ用VTRデッキと同様に、記録または再生のシンプルな操作性を実現できます。

内蔵ストレージによるマルチタスクオペレーション

内蔵ストレージでは、ベースバンド記録・再生、ネットワーク転送、メディア間のファイルコピーなどを同時に行うマルチタスクオペレーションに対応しています。
※ VTRモード時は、ベースバンド記録・再生や、メディアへのコピーを同時に行うことはできません。

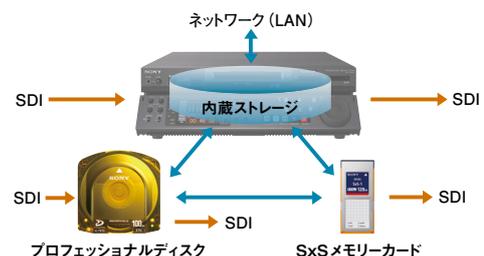
内蔵ストレージとリムーバブルメディアの同時記録

内蔵ストレージに収録しながら、プロフェッショナルディスクまたはSxSメモリーカードにバックアップコピーを行う同時記録に対応しています。また、リムーバブルメディアの容量がいっぱいになっても、収録を止めずにメディアの交換が可能です。

メディア間のファイルコピー機能

内蔵ストレージ、プロフェッショナルディスク、SxSメモリーカードの3つのメディア間でのファイルコピーが可能です。また、XAVC Intra 100MbpsからMPEG HD422 50MbpsなどのトランスコードコピーやIn点、Out点を指定した部分コピーにも対応しています。

※ トランスコードコピー中は、ベースバンド記録・再生動作はできません。



●掲載の価格には、配送設置・工事・接続調整などの費用は含まれていません。

XDCAM Stationの主な特長

ネットワーク機能の強化とノンリニア編集機との連携

1000BASE-Tに対応したLAN端子を搭載。内蔵ストレージとの組み合わせで、複数端末からの同時アクセスを実現するなど、従来のXDCAMに比べ、より高速で柔軟なファイルオペレーションが可能です。

また、プロトコルとしては従来のXDCAM同様、FTPにも対応し、部分転送も可能です。さらにCIFSプロトコルにも対応。ノンリニア編集機とFTPまたはCIFS接続することで、XDCAM Stationとノンリニア編集機間のネットワークファイル転送やダイレクトアクセスが可能です。

さまざまなオペレーションが可能なコントロールパネル

コントロールパネルでは、XDCAM Stationの内蔵ストレージやプロフェッショナルディスク、SxSメモリーカードの素材のリスト表示・サムネイル表示を行い、ダイレクトのファイル操作を実現しています。コントロールパネルのディスプレイに表示される内容は、背面のVGA端子からも出力されます。

また、各メディア間のファイルコピーやクリップリスト編集を行うことも可能です。VTRライクな操作性を実現するためジョグ/シャトルを搭載し、従来のVTRと同様のスムーズなジョグ/シャトル*を実現しています。

* プロキシAVデータを持たないMXFファイルは、±2倍速以上のシャトル再生の映像音声は不連続になります。

エッセンスマークの記録・削除

クリップには、ショットマークやビデオインサートの編集点など、さまざまなエッセンスマークが記録されています。

XDCAM Stationは、フロントパネルの操作でエッセンスマークを削除したり、またファイル搬入前に、ストップマーク(エッセンスマークの一種)を記録することが可能です。

外部制御インターフェースを装備

RS-422A端子により、従来のVTRプロトコルとVDCPプロトコルの両方に対応しています。

また、LAN端子により、FTPプロトコルによるネットワーク制御も可能です。



※ 写真はXDS-PD2000/Aの背面です。

対応メディアの記録・再生時間

		記録フォーマット				
		XAVC AI422*	MPEG HD422	MPEG HD	MPEG IMX	DVCAM
記録モード		CLASS 100	50Mbps	HQ モード (35Mbps/VBR)	50Mbps	25Mbps
オーディオチャンネル数		8	8	4	4/8	4
記録・再生時間	内蔵HDD	—	約30時間	48時間以上	約33時間	約61時間
	内蔵SSD	約16時間	約30時間	48時間以上	約33時間	約61時間
	PFD23A	約21分	約43分	65分以上	約45分	約85分
	PFD50DLA	約46分	約95分	145分以上	約100分	約185分
	PFD100TLA	約92分	約190分	290分以上	約200分	約370分
	PFD128QLW	約120分	約240分	360分以上	約240分	約450分

* PD2000別売のXDBK-106がインストールされているとき。

電源・内蔵ストレージの冗長化、高信頼性を実現

XDCAM Stationでは冗長電源ユニットXDBK-101(別売)により、電源を冗長化し、スタジオサブやマスターなどでの、より安全な送出運用に対応します。

また、XDS-1000/A、XDS-PD1000/Aの内蔵HDDはRAID-4を採用しており、障害発生時でもデータの修復が可能です。XDS-PD2000/Aは、SSD RAIDオプション XDBK-113(別売)を搭載することにより、RAID-4に対応することが可能です。

アプリケーションソフトウェアによる運用サポート

XDCAMのファイルベースオペレーションをサポートするため、ネットワークに接続されたXDCAM Station上のクリップのプレビュー、リネーム、クリップリスト編集、メディア間コピー、ファイル転送、メタデータ編集、フォーマット変換などさまざまな機能に対応したアプリケーションソフト「Catalyst Browse」をご提供しています。



Catalyst BrowseのGUI

※ 各種アプリケーションの最新版は、XDCAM公式サイトからダウンロードすることができます。

<http://www.sony.jp/xdcam/support/download/>



PFD128QLW(左)、PFD100TLA(中左)、PFD50DLA(中右)、PFD23A(右)

ファイルベースリニア編集ソリューション(リニア編集オプション/VTRモード)

XDS-PD2000/Aにリニア編集オプションXDBK-105(別売)を装着することで、内蔵ストレージにおいて、従来のテープと同様のビデオ、オーディオインサート編集やアSEMBル編集、プリリード編集を行うことができます。また、AVCコーデックオプションXDBK-106(別売)により、XAVC Intraコーデックにも対応します。既存のリニア編集システムのVTRをXDS-PD2000/Aへ置き換えることにより、XAVC Intraコーデックによる画質劣化の少ない、ファイルならではの効率的なファイルベースリニア編集を実現します。

また、3層プロフェッショナルディスクによる最大3時間の番組搬入への対応も可能となります。

外部SSDへのダイレクト編集

XDS-PD2000/A

外部SSDアクセスオプションXDBK-109(別売)を装着することで、USB接続した外部SSDへのダイレクト記録・再生、リニア編集を可能にします。USB接続で取り外しができるため、編集システムやMA間でのメディアでの受け渡しを行うことができるようになり、従来のVTR編集と同様の運用を実現します。

尚、XDS-PD2000/Aでフォーマットした外部SSDは、パスワードロックがかかり、汎用PCでは認識できなくなるため、セキュアなメディアとして運用が可能です。

XDS-PD2000/A 対応SSDメディア

型名	容量	収録時間	
		XAVC-I HD	MPEG HD422
PSZ-SA25 ※販売終了品です	256GB	約124分	約184分
PSZ-SA48 ※販売終了品です	480GB	約184分	約184分
PSZ-SC48	480GB	約184分	約184分

プロフェッショナルディスクの

部分差し替え編集

XDS-PD2000/A

XDS-PD1000/A

プロフェッショナルディスクは、通常のダイレクトリニア編集には対応していませんが、1インサート区間ごとの部分差し替え編集が可能です。納品直前のテロップ差し替えなど、ディスクダイレクトの差し替えが可能です。

※通常のリニア編集動作と異なり、一旦インサート区間を内蔵SSDに記録した後で、内蔵SSDからプロフェッショナルディスクへの一本化(差し替え)を行うため、1インサート区間ごとの編集となり、また通常のインサート編集と比べて時間がかかります。

EXTRAプリロール編集

従来のリニア編集時は、ファイル先頭の5秒間はプリロール区間のため編集できませんでしたが、各編集対象メディアの先頭ファイルに限り、仮想的にプリロールするための拡張領域を作ることにより先頭フレームからのインサート編集を実現しました。

拡張領域 クリップ1 クリップ2 . . . クリップn

対応オプション/アクセサリ一覧

商品名	型名	希望小売価格	XDS-1000 XDS-PD1000	XDS-1000/A XDS-PD1000/A	XDS-PD2000	XDS-PD2000/A
冗長電源ユニット	XDBK-101	200,000円+税	○	○	○	○
SSD RAIDオプション (256GB)	XDBK-102	400,000円+税	—	—	○	—
リニア編集オプション	XDBK-105	300,000円+税	○	○	○	○
AVCコーデックオプション	XDBK-106	400,000円+税	—	—	○	○
オプションSSDドライブ (400GB)	XDBK-107	280,000円+税	—	—	○	—
USB3.0インターフェースボード	XDBK-108	40,000円+税	—	—	○	標準搭載
外部SSDアクセスオプション	XDBK-109	180,000円+税	—	—	○	○
SSD RAIDオプション (480GB)	XDBK-113	280,000円+税	—	—	—	○
MPEG TS入出力ボード	PDBK-202	300,000円+税	○	○	○	○
ラックマウントテーブル	SRM-T3	53,000円+税	○	○	○	○

※ オプションボードの装着は有償となります。サービス窓口にお問い合わせください。

関連商品



XDCAM HD422レコーダー
PDW-HD1550
希望小売価格 2,500,000円+税



XDCAM HD422レコーダー
PDW-F1600
希望小売価格 3,100,000円+税



XDCAM HD422レコーダー
PMW-1000
希望小売価格 1,200,000円+税



XDCAMドライブ
PDW-U4
希望小売価格 600,000円+税



4K メモリープレーヤー
PMW-PZ1
希望小売価格 560,000円+税

AC電源コード
DK-2401
希望小売価格 2,800円+税



エディティングコントローラー
RM-280
希望小売価格 300,000円+税



プロフェッショナルディスク
PFD23A
PFD50DLA
PFD100TLA
PFD128QLW
オープン価格



SxSメモリーカード SxS PRO X
SBP-240F (240GB)
SBP-120F (120GB)
オープン価格
SxSメモリーカード SxS-1
SBS-128G1C (128GB)
SBS-64G1C (64GB)
SBS-32G1C (32GB)
オープン価格



ポータブルストレージ(SSDタイプ)
PSZ-SC48 (48GB)
オープン価格

XDCAM Station Aモデルの主な仕様

		XDS-1000/A		XDS-PD1000/A		XDS-PD2000/A			
システム	記録・再生フォーマット ※ベースバンド収録時の仕様。他のフォーマットについても記録(コピー)、再生は可能	MPEG HD422	ビデオ オーディオ	MPEG-2 422P@HL 50Mbps 24bit 48kHz 8ch					
		MPEG HD	ビデオ オーディオ	MPEG-2 MP@HL 35/25/18Mbps*1 16bit 48kHz 4/2ch*5					
		MPEG IMX	ビデオ オーディオ	MPEG-2 422P@ML 50/40*1/30Mbps 24/16bit 48kHz 4/8ch					
		DVCAM	ビデオ オーディオ	DVCAM : 25Mbps 16bit 48kHz 4ch					
		XAVC AI422	ビデオ オーディオ オプション構成	- - -	MPEG-4 AVC/H.264 111/89/54Mbps 24bit 48kHz 8ch 記録再生 : XDBK-106 (別売) が必要				
		プロキシビデオ プロキシオーディオ	MPEG-4 A-Law 8bit 8kHz 8ch						
	記録/再生時間	内蔵ストレージ	約30時間 (MPEG HD422 50Mbps記録時)				約30時間 (MPEG HD422 50Mbps記録時) 約16時間 (XAVC AI422 Class100記録時)		
		外部SSD PSZ-SA48 (480GB)	-	-				XAVC 100M 約184分 MPEG HD422 50M 約184分	
		プロフェッショナルディスク SxS	-	2ページ [対応メディアの記録・再生時間] 参照				2ページ [対応メディアの記録・再生時間] 参照	
	サーチスピード	JOGモード	-1~+1倍速						
VARモード		-2~+2倍速				-2~+2倍速 プロフェッショナルディスクXAVC -1~+2倍速			
SHUTTLEモード*2 ひずみ率 FF/REWモード		-20~+20倍速*3 -50~+50倍速							
特性	サンプリング周波数	Y : 74.25MHz、R-Y/B-Y : 37.125MHz							
	量子化特性	MPEG HD422、MPEG HD、DVCAM 8bit/サンプル				MPEG HD422、MPEG HD、MPEG IMX、DVCAM 8bit/サンプル XAVC 10bit/サンプル			
プロセッサ	ビデオレベル	-∞~+3dB							
	クロマレベル	-∞~+3dB							
	セットアップ/ブラックレベル	±30IRE/±210mV							
	クロマ位相	±30°							
オーディオ特性	サンプリング周波数	48kHz							
	量子化特性	24bit							
	ヘッドルーム	-20dB/-18dB/-16dB/-12dB/-9dB (EBUレベル) (選択可能)							
	周波数特性	20Hz~20kHz + 0.5dB/-1.0dB (0dB、1kHz)							
入力端子	デジタル入力	HD/SD-SDI/DVB-ASI INPUT BNC×1 (HD/SD切換式) HD : SMPTE ST 292-1準拠、SD : SMPTE ST 259準拠、DVB-ASI TS : PDBK-202 (別売) 装着時							
	アナログビデオ入力	REF BNC×2 (ループスルー)、HD3値シグナル (0.6Vp-p/75Ω/同期正負) またはSDブラックバースト/コンポジットシグナル (0.286Vp-p/75Ω/同期負)							
	デジタルオーディオ入力	DIGITAL AUDIO (AES/EBU) IN 1/2、3/4、5/6、7/8 BNC×4、1/2ch、3/4ch、5/6ch、7/8ch、AES-3id-1995準拠							
	アナログオーディオ入力	ANALOG AUDIO INPUT1、2 XLRタイプ3ピン 凸×2、+4dBu、ハイインピーダンス、平衡							
出力端子	タイムコード入力	TIME CODE IN BNC×1、SMPTEタイムコード、0.5~18Vp-p/3.3kΩ/不平衡							
	デジタル出力	SYSTEM TC INPUT BNC×1、SMPTEタイムコード、0.5~18Vp-p/3.3kΩ/不平衡							
	アナログビデオ出力	HD-SDI OUTPUT BNC×2 (HD SDI2出力のみスーパースペードのON/OFFが可能) SMPTE ST 292-1準拠							
	アナログオーディオ出力	ANALOG AUDIO OUTPUT1、2 XLRタイプ3ピン 凸×2、+4dBu、600Ω負荷、ローインピーダンス、平衡							
コントロール	デジタルオーディオ出力	DIGITAL AUDIO (AES/EBU) OUT 1/2、3/4、5/6、7/8 BNC×4、1/2ch、3/4ch、5/6ch、7/8ch、AES-3id-1995準拠							
	タイムコード出力	TIME CODE OUT BNC×1、SMPTEタイムコード、1.0Vp-p/75Ω/不平衡							
	リモート (9P)	D-sub9ピン 凹×2、RS-422A準拠							
	ビデオコントロール	D-sub9ピン 凹×1、EIA RS-423A準拠							
端子	GPIO	D-sub15ピン 凹×1、入力 : CMOS 5V、出力 : オープンコレクター							
	ネットワーク	RJ-45×1 1000Base-T : IEEE802.3ab準拠、100Base-TX : IEEE802.3u準拠、10Base-T : IEEE802.3準拠							
その他	USB3.0	-							
	MAINTENANCE端子 PCIe拡張スロット	HighSpeed USB (USB2.0) TypeA型×3 フロント×1*4、リア×2 ×8 Lane (25W) ×2スロット							
一般	外形寸法 (幅×高さ×奥行)	約424×約132×約460mm (最大突起含まず)							
	質量	約15.5kg	約17kg				約16kg		
	電源	AC90V~264V、47Hz~63Hz							
	消費電力	170W	190W				210W		
	動作温度	5~40°C							
	付属品	オペレーションガイド×1、CD-ROMマニュアル×1、(電源コードは付属していません)							

*1 MPEG HD 25Mbps/18Mbps、MPEG IMX 40Mbpsは再生のみ *2 プロキシビデオを持たないクリップをシャトル再生すると、映像や音声不連続になります。 *3 リモートでは最高速度は約50倍速ですが、クリップの記録状態やディスク上の再生位置によって変わることがあります。 *4 フロントパネル側端子は、標準ASCII配列USBキーボードまたはテンキーボードによりIC入力とCueup、クリップ移動 (Next/Prev/Top/End動作) が可能です。 *5 オーディオ2chは再生のみ

安全に関する注意 商品を安全に使うため、使用前に必ず「取扱説明書」をよくお読みください。

商品使用上の注意 ●お使いになる前に、必ず動作確認を行ってください。故障その他に伴う営業上の機会損失等は保証期間中および保証期間経過後にかかわらず、補償はいたしかねますのでご了承ください ●本製品を誤用したことによるお客様、または第三者からのいかなる請求についても、弊社は一切の責任を負いかねます ●本機内、記録メディア、外部のストレージ等に記録されたデータの損失、修復、複製の責任は負いかねます ●諸事情による本製品に関連するサービスの停止、中断について、一切の責任を負いかねます **カタログ上の注意** ●仕様および外観は、改良のため予告なく変更されることがあります ●カタログと実際の商品の色とは印刷の関係で多少異なる場合があります **商標について** ●「ソニー」および「SONY」、ならびにソニーの商品名、サービス名およびロゴマークは、ソニーグループ株式会社またはその関連会社の登録商標または商標です ●HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interfaceとそのロゴは、HDMI Licensing, LLCの商標もしくは米国およびその他の国における登録商標です ●その他の商品名、サービス名、会社名またはロゴマークは、各社の商標、登録商標もしくは称号です。なお、本文中ではTM、®マークは明記していません

法人のお客様向け
ソニー ウェブサイト sony.jp/pro/



ソニーマーケティング株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

購入に関するお問い合わせ
業務用商品購入相談窓口
フリーダイヤル ☎ 0120-580-730
受付時間 9:00~18:00 (土・日・祝日、および弊社休業日は除く)

製品に関するお問い合わせ (使い方、故障診断など)
フリーダイヤル ☎ 0120-788-333 携帯電話・PHS・一部のIP電話からは 050-3754-9550
受付時間 9:00~18:00 (土・日・祝日、および弊社休業日は除く)

2021.4
カタログ記載内容2021年4月現在